

フィルムリーディングセッション

司会の言葉

大島 統男 (帝京大学医学部放射線科)

小泉 潔 (東京医科大学八王子医療センター放射線科)

核医学総会においてフィルムリーディングセッションを行うことになりました。恐らくこのような試みは私共の知る限りでは初めてだと思います。出題は全国約10か所の施設にお願いしました。ご承知のように、核医学診断に関しては放射線診断と異なり、当ても的な問題を探すことはなかなか困難であり、どのようなシンチグラフィを行ったかという点だけで診断が可能となる症例が多いと思います。そこで、症例としては必ずしも奇をてらったものだけではなく、日常診療に役立つ教育的効果の高いものも含めて選択いたします。回

答者は複数の方にお願いし、回答方法も選択方式にすることにより、個人的な能力をあまり問われないよう、気楽に、しかも楽しく回答していくだけるよう配慮しました。また、このようにすることにより、得てして主観的に陥りやすいシンチグラフィ所見の読影をある程度標準化できることも期待しております。回答者による回答の後、出題していただいた施設から正解と症例の解説ならびに鑑別診断をしていただきます。

以上のような方針で行いますが、出席のみなさまのご期待に添えれば幸いに存じます。